

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272301003		
法人名	社会福祉法人つがる三和会		
事業所名	グループホームおのえ		
所在地 (電話番号)	〒036-0221 青森県平川市中佐渡上石田36-1 (電話) 0172-43-5227		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 9月 11日	評価確定日	平成 19年 10月 23日

【情報提供票より】(平成 19年 8月 15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 12月 28日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	3人, 非常勤 12人, 常勤換算 7.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	1階建ての 階 ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	9,600~冬季12,600円	
敷金	有() 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(8月 15日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	8名	要介護2	7名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 81.3歳	最低	73歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人元秀会弘前小野病院・佐藤歯科医院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

造園業の跡地に建てられたというホームの周りは田園風景が広がり、食堂ホールや居室からは岩木山を望める静かな環境に立地されている。玄関は2ヶ所あり、天気の良い日は常に開放されている。センサー等の設備がない分職員は逆に入居者に対する気配り、見守りが徹底していた。入居者一人ひとりに合った生活を送っていただくために、「決まりごとをつくらない」ということを徹底しており、入居者の生活行動を見てみても、各々自由に生活しており、それに合わせ職員もまた慌しく動き回るとい姿はまったく見られない。行政・地域住民との関係もうまく図られており、若い施設ではあるが法人及び施設職員のこれまでの取り組みがすばらしいものであるということ強く感じられた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	玄関周りの環境について及び入居者に対する声かけ等について指摘されており、これらについては職員はもちろん運営推進会議にも報告され、意見を頂きながらサービス向上に努めている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	施設職員は評価事業の具体的な意義を十分理解しており、自己評価を全職員で作成している。また、外部評価の結果を踏まえ、職員・入居者・ご家族とも話し合い改善に向け積極的に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回実施されており、参加者(入居者、ご家族、地域、市役所職員)に施設の取り組み等を公表し意見を頂きながらサービス向上に取り入れている。また、行政との関係も良好で随時連絡を取り合っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	意見箱を設置したり、また面会時でもいつでも意見・要望を伝えることのできるような体制が整っており、寄せられた苦情等に対しては前向きに受け止め、今後の運営に反映させるよう取り組んでいる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域行事への参加、施設見学の受け入れ、更に地域の廃品回収や道路脇への花植えに参加するなど、地域とのつながりをとても大切にしている。今後はキャラバンメイトとして、地域の認知症普及活動に積極的に参加し、更なる地域住民への理解と交流の拡大が期待されます。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスを提供していくことを法人理念として掲げ、他にグループホーム全職員で、地域住民との交流・家庭的な環境の下でグループホーム独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員休憩室にも掲示し、各種会議等で日々確認され、実践に活かされている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	自治会行事への参加、施設見学の受け入れ、更に地域の廃品回収や道路脇への花植えに参加するなど、地域との交流は積極的に行われている。キャラバンメイトの活動については、今後の検討課題となっている。		キャラバンメイトとして地域の認知症普及活動に積極的に参加し、更なる地域住民への理解と交流の拡大に期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>施設職員は評価事業の具体的な意義を十分に理解しており、自己評価を全職員で作成している。また外部評価終了後は職員、入居者、ご家族と話し合い改善に向けた取り組みを行っている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では参加者(入居者、ご家族、地域、市役所職員)に施設の取り組み等を公表し、意見を頂きながらサービス向上に取り入れている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市役所担当者との関係は良好で、常に意見の交換等を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>未だ対象となる入居者はいないが、研修への参加や勉強会での周知を図り、常に相談等に答えられるよう体制を整えている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修会への参加や勉強会での周知徹底を図り、各種資料も整えており、職員はいつでも目を通せる体制となっている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	本人、ご家族等から不安や疑問点を伺いながら十分に説明し、同意を得て契約している。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時には必ず報告をすると共に、急変時には直ちに電話連絡を入れている。また、定期的に面会に来れないご家族に対しては、施設職員が自宅を訪問し報告するケースもある。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	寄せられた要望・苦情等に対しては前向きに受け止め、今後の運営に反映させるよう取り組んでいる。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設時からの職員が殆どであるが、異動については必要最小限に止め、引継ぎも確実に行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月1回の系列グループホームとの合同での研修会、年2回の法人全体の研修会等を実施し、積極的に参加させている。外部研修参加者は、月1回の研修の際に報告している。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協会に加盟しており、研修等でネットワーク作りを行い、情報交換や訪問の機会を積極的に作っている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>馴染みの物を居室や施設の共用スペースに持参し、家庭的な雰囲気づくりがなされている。また、入居前に利用者の情報収集をし、安心して暮らせるよう配慮されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者の方々はそれぞれ思い思いの時間をゆったり過ごしており、職員はそれを見守りながら適切な援助を行い、共に支えあえる関係づくりに留意している。</p>		


外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者との日常の会話や関わりを大切にされ、また、ご家族からの思いを伺ったり(要望・希望を自由に記入できる用紙を活用)、入居者の思いを確認しながら支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画書は入居者・ご家族の意向が盛り込まれ、全職員で検討し作成されている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しはもちろん、入居者の変化に応じて、適宜入居者・ご家族・職員等で検討し状態に応じたサービス計画書が作成されている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の状況に応じて自立施設への入所、特別養護老人ホームへの入所等、要望に応じて支援している。また、併設施設(デイサービスセンター)での行事等参加、場所の利用等活用している。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者・ご家族が希望するかかりつけ医となっている。基本的に家族同行の受診となっているが、不可能なときは職員が引率している。また、協力医との関係は密にとっている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に看取りについての体制を説明し、同意書にて同意を交わし方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の自尊心に十分配慮した対応がされている。施設内外での個人情報の取り扱いに全職員で注意するよう徹底されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者・ご家族からの希望に沿い、一人ひとりに合わせた生活ができるよう支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの能力に応じ、職員と一緒に準備から後片付けまでを行っている。食事は入居者の見守りや声かけを行いながら、楽しい雰囲気職員も一緒に摂っている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	天然温泉で庭木もあり、開放的でつるげる環境で毎日入浴できる体制が整っている。個人の希望・タイミングに合わせた入浴が支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個人個人の生活歴や得意分野で力を発揮でき、張り合いや喜びの日々を過ごせるよう支援している。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの楽しみごとや希望に沿って、散歩・畑作業・買い物・散髪・地域の行事・同法人の行事等に参加するなど、積極的に戸外へ出かけるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は身体拘束のないケアを認識し、高齢者の権利擁護や身体拘束に関する資料等いつでも閲覧でき、職員の共有意識を図っている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけず出入りも自由にしている。離園に関しての配慮は十分行っている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署・防火管理者からの指導のもと年2回の避難訓練を実施している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設事業所の栄養士のもと、カロリーの把握はできており、毎食の食事摂取量や水分摂取量の観察も行われており、状態観察に努めている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを準備し、看護師からの指導を受けている。入居者・職員の予防は徹底し、流行時は面会者への協力も得ている。		

外部 評価 値	自己 評価 値	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>非常に開放的な雰囲気の建物となっており、施設としての違和感をまったく感じさせず、明るく家庭的な雰囲気となっている。入居者にとって居心地よく過ごせる環境スペースとなっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者が安心して居心地よく過ごせるように、使い慣れたものを各種持ち込んでいる。居室だけでなく共用スペースにも持ち込まれており、懐かしさと安心感を与えている。</p>		

 は、重点項目。